



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL https://www.rakus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,049	31.4	2,786	204.8	2,799	205.7	2,029	255.5
2020年3月期第3四半期	8,408	32.8	914	△26.2	915	△26.3	571	△29.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,026百万円 (255.3%) 2020年3月期第3四半期 570百万円 (△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	11.20	—
2020年3月期第3四半期	3.15	—

(注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、また、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,697	6,928	71.5
2020年3月期	7,039	5,192	73.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,928百万円 2020年3月期 5,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	1.65	1.65

(注) 1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。
 2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,119	30.2	3,604	206.9	3,617	207.2	2,720	240.2	15.01

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	181,216,000株	2020年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,430株	2020年3月期	1,360株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	181,214,603株	2020年3月期3Q	181,214,687株

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、また、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による働き方の見直しが進む中でバックオフィス業務のデジタル化が注目を集めております。

このような経営環境の中、当社グループは「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を経営方針に掲げ、2018年3月期の業績を基準として、2019年3月期から2021年3月期の3年間で、売上高、各段階利益ともCAGR（年平均成長率）30%の達成を目指しており、最終年にあたる2021年3月期においては、効率化を追求することで、高い売上高成長を維持しながら、高い利益成長を実現すべく、費用対効果を重視した成長投資を実施しております。

当第3四半期連結累計期間においては、前期に実施した成長投資強化の効果に加え、企業のデジタル化による効率化志向の高まりからクラウド事業の主要サービスにおいて新規受注が好調に推移しました。一方でIT人材事業においては前四半期と同様、リモートワーク下での新規のエンジニア受け入れノウハウが確立されていないこと等に起因するエンジニアのアサインの遅れが継続することにより、売上高への影響を受けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,049,143千円（前年同期比31.4%増）、営業利益2,786,366千円（前年同期比204.8%増）、経常利益2,799,136千円（前年同期比205.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,029,993千円（前年同期比255.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は前期に実施した成長投資の効果に加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による顧客企業の働き方の変化や効率化を目的とした主要サービスの導入が加速したことから、売上高8,801,495千円（前年同期比36.3%増）となりました。利益面では、増収効果に加え、効率的な成長投資を実施していることから、セグメント利益は2,613,633千円（前年同期比287.6%増）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受けて引き続きアサインが想定より遅れておりますが、稼働エンジニア数が前年同期比で増加していることから、売上高2,247,648千円（前年同期比15.2%増）となりました。利益面では、稼働エンジニア数の増加と新規採用の停止によりエンジニア稼働率が改善し、利益率も改善傾向にあるものの回復途上であることから、セグメント利益は172,733千円（前年同期比28.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,069,145千円となり、前連結会計年度末に比べ2,655,834千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2,208,768千円、売掛金が409,062千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,627,973千円となり、前連結会計年度末に比べ2,098千円増加いたしました。主な要因は、のれんが122,846千円、顧客関連資産が55,200千円、投資有価証券が40,000千円減少したものの、工具、器具及び備品が128,318千円、差入保証金が72,569千円、建物及び構築物が18,405千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,697,119千円となり、前連結会計年度末に比べ2,657,933千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,724,406千円となり、前連結会計年度末に比べ950,766千円増加いたしました。主な要因は、未払費用が383,699千円減少したものの、未払法人税等が578,176千円、未払消費税等が252,424千円、賞与引当金が219,624千円、未払金が161,086千円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は43,993千円となり、前連結会計年度末に比べ28,947千円減少いたしました。これは、繰延税金負債が19,435千円、長期未払費用が9,512千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,768,399千円となり、前連結会計年度末に比べ921,818千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,928,719千円となり、前連結会計年度末に比べ1,736,114千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により289,943千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,029,993千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による2020年4月発出の緊急事態宣言を受けて経済活動が停滞したことで、当社グループの営業活動にも影響がありました。クラウド事業においては、新規受注への一時的な影響に留まり、宣言解除後の新規受注は好調に推移しております。一方でIT人材事業においては、経済活動の停滞に加え、顧客企業のリモートワーク化の影響によりアサインに遅れが生じたことから、稼働率が低下しましたが、足元では回復傾向となっております。

2021年3月期は2018年3月期の業績を基準として、売上高及び各段階利益でCAGR（年平均成長率）30%の達成に向けて、費用対効果を重視した効率的な成長投資を実施するという方針の下、主に広告宣伝費の抑制を計画しており、売上高は15,119,000千円（前連結会計年度比30.2%増）、営業利益3,604,000千円（前連結会計年度比206.9%増）、経常利益3,617,000千円（前連結会計年度比207.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,720,000千円（前連結会計年度比240.2%増）を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,496,086	4,704,855
売掛金	1,686,540	2,095,603
商品	3,994	1,084
その他	238,042	278,966
貸倒引当金	△11,353	△11,364
流動資産合計	4,413,311	7,069,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,192	141,597
工具、器具及び備品(純額)	496,220	624,539
有形固定資産合計	619,413	766,137
無形固定資産		
のれん	955,476	832,629
顧客関連資産	208,533	153,333
ソフトウェア	49,212	38,495
無形固定資産合計	1,213,222	1,024,458
投資その他の資産		
投資有価証券	42,016	2,016
差入保証金	337,203	409,773
繰延税金資産	402,276	418,288
その他	19,999	13,974
貸倒引当金	△8,257	△6,675
投資その他の資産合計	793,238	837,377
固定資産合計	2,625,874	2,627,973
資産合計	7,039,185	9,697,119

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	194	128
短期借入金	3,335	-
未払金	428,937	590,024
未払費用	435,993	52,293
未払法人税等	267,314	845,491
未払消費税等	225,657	478,081
前受金	369,306	391,457
賞与引当金	-	219,624
その他	42,901	147,305
流動負債合計	1,773,640	2,724,406
固定負債		
長期未払費用	22,723	13,211
繰延税金負債	50,217	30,782
固定負債合計	72,940	43,993
負債合計	1,846,581	2,768,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	4,510,580	6,250,630
自己株式	△404	△492
株主資本合計	5,196,582	6,936,543
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	1,178	△277
為替換算調整勘定	△5,155	△7,546
その他の包括利益累計額合計	△3,977	△7,824
純資産合計	5,192,604	6,928,719
負債純資産合計	7,039,185	9,697,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,408,468	11,049,143
売上原価	2,846,108	3,675,092
売上総利益	5,562,359	7,374,051
販売費及び一般管理費	4,648,153	4,587,684
営業利益	914,205	2,786,366
営業外収益		
受取利息	25	18
受取補償金	-	8,193
助成金収入	2,602	5,636
その他	138	683
営業外収益合計	2,765	14,532
営業外費用		
支払利息	48	1
為替差損	1,202	1,747
その他	-	14
営業外費用合計	1,251	1,763
経常利益	915,719	2,799,136
特別利益		
投資有価証券売却益	-	210,000
特別利益合計	-	210,000
特別損失		
固定資産除却損	32	3,790
投資有価証券評価損	7,983	-
特別損失合計	8,015	3,790
税金等調整前四半期純利益	907,704	3,005,345
法人税、住民税及び事業税	358,935	1,010,156
法人税等調整額	△22,312	△34,804
法人税等合計	336,622	975,351
四半期純利益	571,081	2,029,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	571,081	2,029,993

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	571,081	2,029,993
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	466	△1,455
為替換算調整勘定	△1,227	△2,390
その他の包括利益合計	△760	△3,846
四半期包括利益	570,321	2,026,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570,321	2,026,147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額362,326千円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,456,874	1,951,594	8,408,468	-	8,408,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	15,709	15,754	△15,754	-
計	6,456,918	1,967,303	8,424,222	△15,754	8,408,468
セグメント利益	674,354	239,851	914,205	-	914,205

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,801,495	2,247,648	11,049,143	-	11,049,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	34,167	34,212	△34,212	-
計	8,801,539	2,281,815	11,083,355	△34,212	11,049,143
セグメント利益	2,613,633	172,733	2,786,366	-	2,786,366

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。